

3500		電気代			
品目	銘柄	詳細	単位		
電気代	従量電灯, アンペア制又は最低料金制, 早収料金, 基本料金又は最低料金・電力量料金・燃料費調整単価・太陽光発電促進付加金単価・再生可能エネルギー発電促進賦課金単価	使用電力量パターン別	1か月		
	企業別				
価格選定（銘柄） (1) 上記銘柄の価格を選定する。 (2) 調査市町村別に該当する電力会社を1社選定する。 (3) 電気代は、選定した電力会社（全部で10社）が採用している料金体系を用いて算定する。 北海道, 東北, 東京, 北陸, 中部, 九州電力の6社…………… アンペア制 関西, 中国, 四国, 沖縄電力の4社…………… 最低料金制					
価格選定（詳細） (4) 1か月当たりの使用電力量について5パターン設定する（カッコ内は、アンペア制における契約アンペア数を表す）。 使用電力量パターン：180 kWh (20A), 270 kWh (30A), 350 kWh (40A), 450 kWh (50A), 700 kWh (60A)					
指数算出方法 I 調査市町村別平均価格の算出 ① 使用電力量パターン(i)別の価格を算出する。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td><math>t</math> : 比較時, 0 : 基準時</td> </tr> <tr> <td><math>i</math> : 使用電力量パターン</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">ア アンペア制の場合</p> $P_{t,i} = \text{基本料金} + (\text{1 kWh 当りの料金} + \text{燃料費調整単価}) \times \text{1か月の使用量} \\ + \text{太陽光発電促進付加金単価} \times \text{1か月の使用量} \\ + \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times \text{1か月の使用量}$ <p style="margin-left: 20px;">イ 最低料金制の場合</p> $P_{t,i} = \text{最低料金} + (\text{1 kWh 当りの超過料金単価} \times (\text{1か月の使用量} - \text{最低料金額})) \\ + \text{燃料費調整最低料金} + (\text{燃料費調整単価} \times (\text{1か月の使用量} - \text{最低料金額})) \\ + \text{太陽光発電促進付加金最低料金} \\ + (\text{太陽光発電促進付加金単価} \times (\text{1か月の使用量} - \text{最低料金額})) \\ + \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金最低料金} \\ + (\text{再生可能エネルギー発電促進賦課金単価} \times (\text{1か月の使用量} - \text{最低料金額}))$ ② 使用電力量パターン別の世帯割合( $q$ )を用いて加重平均し、調査市町村別の平均価格を算出する。 $P_t = \frac{\sum_i P_{t,i} q_{0,i}}{\sum_i q_{0,i}}$ II ③ 基準時価格で除して、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。 $I_t = \frac{P_t}{P_0} \times 100$				$t$ : 比較時, 0 : 基準時	$i$ : 使用電力量パターン
$t$ : 比較時, 0 : 基準時					
$i$ : 使用電力量パターン					
価格指数の適用 調査市町村別					